

地域とともに学校を創る



～気高地域学校統合準備委員会だより～

第9回気高地域学校統合準備委員会を開催しました

第9回委員会の議論について

1月13日、委員17名とアドバイザーの参加のもと、第9回気高地域学校統合準備委員会が開催されました。

前回の委員会の中では、新しい学校の設置位置について、「浜村駅周辺の新規用地で新しい学校づくりを進めてほしい」という意見が多数を占めました。今回の委員会ではすでに方針を決定している学校種も踏まえ作成した、学校の種別及び新設校の設置場所等についての「報告及び要望（案）」について議論を行いました。委員会の中で教育委員会より、市としてはまちづくりや市全体の施設整備の計画との関係も考える必要があること、また新しい用地を取得するにはそれなりの時間がかかることといった説明を受けました。



新しい学校は、これからの地域・社会を担う人材育成にもなるとともに、地域の活性化にもつながるものだと考えています。これからも新しい学校の誕生に向けて、皆さんの後押しをお願いします。

教育委員会への報告及び要望（案）の内容を紹介します 令和4年1月13日時点

【学校種について】

・小中一貫型の学校を実施されている湖南学園の視察などで、小中9年間の義務教育期間を通しての一貫した教育は、子どもたちにとっては様々な面において優れた教育効果があることが分かってきました。

しかし、『まずは、この地域4つの小学校のみの統合』を要望することになりました。

議論のなかで、新しい時代に合った教育の創造に期待したい委員の思いを尊重し、現段階では小学校のみの早期統合を望みますが、将来的には義務教育学校への移行を視野にいれた取組みをお願いしていきます。

【学校の位置について】

・通学の安全面や各地区住民や保護者の思い、この地域のまちづくり等を考慮しながら議論を深め、将来展望を見据えると『JR浜村駅周辺に新規用地を取得され新しい学校づくりを進めていただきたい』といった委員の意見が多数を占めたため、これを要望することとなりました。 ～裏面に続きます～

【その他】

・それぞれの地区で長年育まれてきた各小学校の特色の共有はもとより、それらが融合され更なる気高文化への発展が期待されます。また、児童や保護者、地域の大人の方々の協働の取組みによる開かれた学校運営がなされるよう要望することになりました。

・小学生たちが毎日頃、安心して安全に通学できる周辺道路等の改善はもとより、児童によっては通学が6キロ以上離れた集落から通う子どももいますので、スクールバス等を用いて子どもたちへの通学の負担を軽減していただくようお願いする予定です。



・迅速に全力で対処いただき、早急な新設統合を進めていただくよう強く要望していく予定です。

議論の内容を紹介します

～第9回気高地域学校統合準備委員会の議論より～

◆報告及び要望（案）の内容について

新築に向けてのハードルは極めて高いと思います。本当にそれが実現できるか心配です。



小中連携も大切。小学校の統合となることで、小中の連携が薄くならないようなことも要望していきたいです。

内容は概ねよいと思います。ですが、もう少し市民に向けて説明できる内容にまとめる必要があると思います。



★気高中学校区4小学校連携交流事業 ～瑞穂、逢坂小の2年生の交流の様子～



◀資料はこちらから

鳥取市公式ホームページ

(気高地域学校統合準備委員会について)

発行：気高地域学校統合準備委員会

事務局：鳥取市教育委員会事務局校区審議室

TEL : (0857) 30 - 8405

E-mail : kokushingi@city.tottori.lg.jp